

日本鐵鋼協會記事

第7回理事會 昭和7年10月5日(水)午後5時開會
 出席者 河村曉君、俵國一君、渡邊三郎君、今泉喜一郎君、香村小録君、鹽田泰介君 **協議事項** 1) 商工省規格統一調査會より照會の「ニッケル鋼規格案」に関する件
 2) 第一回 香村賞牌贈呈順序決定に関する件 (イ 會長の式詞 ロ、大阪市長、大阪商工會議所會頭、鐵工業同業組合長の祝詞朗讀 ハ、大會委員長の閉會の詞等決定)
 3) 製鐵業參考資料私費印刷發賣の件商工省より10月4日付認可 4) 入退會者承認の件、其他會計報告及大會に関する諸件等にして午後8時閉會す。

第7回編輯委員會 昭和7年9月27日(水)午後5時開會出席者、河村會長、俵理事、水谷理事、委員池田正二君、石原善雄君、山田良之助君、三島德七君、足立泰雄君、鹽澤正一君、廣瀬政次君、**協議事項** 1. 鐵と鋼第

18年第11號上掲原稿選定の件

選定論文

A、炭素並に滿俺の壓延鋼材に及ぼす材質的影響。

城 正 俊

B、航空機用鋼管及鋼板材としての不銹鋼に就て

絹川 武良 司

C、強靱なる鋼鑄物に就て ゼームス、エー、ラピット

藤 原 唯 義

D、デユラルミン冷間加工と機械的性質並に時效硬

化現象。 渡 瀬 常 吉

2) 第9回講演大會に関する件 3) 第7回研究部會に関する件、4) 鐵と鋼第18年第11號へ高瀬氏論文前號より(II)として繼承べき處圖面等の整理の都合上12號へ移せり
 其他編輯上及會務に関する諸件にして午後8時閉會せり。

入 會 者 承 認 (自8月5日至9月7日)

居 所 又 は 宛 名 先	職業及勤務先	會員別	入 會 者 氏 名	紹 介 者
尼ヶ崎市築地南濱四ノ六ニマグネシヤ工業會社	常務取締役	正	吉 田 貫 太君	河村 曉君
大阪市西淀川區浦江町北四ノ一九	アルミニウム加工業	〃	日本アルミニウム製造所	村橋 太君
東京市外砂町大字八郎右衛門二一六		〃	東京亞鉛鍍金株式會社	松藤 村 大君
熊本市熊本高等工業學校	工學士 同校教授	〃	本 多 顯 曜君	河村 曉君
大阪市北區東野田町大阪工業大學	理學士	〃	篠 田 軍 治君	上村 井 達宗
横濱市神奈川區旭ヶ丘四五	工學博士 日本カーボン會社常務取締役	〃	石 川 等君	川 田 松 橋 太君
東京市芝區白金三光町二六一	東北帝大學生	准	小 田 村 嘉 穂君	大村 松 橋 太君
栃木縣足尾町足尾鑛業所工作係	古河鐵業會社	〃	小 清 清 鐘 一君	大 石 源 治
仙臺市東北帝國大學工學部金屬工學科	東北帝大學生	〃	梶 田 定 司君	大 石 源 治
兵庫縣川邊郡小田村杭瀬木ノ元七七伏野方	工學士 尼ヶ崎工業所	〃	鳴 下 克 己君	甲 藤 新
室蘭市新富町社宅一〇四	工學士 日本製鋼所室蘭工場	〃	川 崎 尙君	大 石 源 治
大阪市港區八幡屋浮島町二ノ一三五	工學士 鈴木合金製作所	〃	原 田 靜 夫君	田 中 清 治
本郷區西片町一〇ほノ二四 富田方	東京帝大冶金科學生	〃	原 金 子 健 兒君	田 中 清 治
本郷區追分町三一 清月館	〃	〃	萩 原 巖君	甲 藤 新
室蘭市茶津町五四號	工學士 日本製鋼所室蘭工場研究室	〃	大 田 雞 一君	〃
室蘭市茶津町六四	〃	〃	野 村 留 吉君	〃
室蘭市茶津町同袍寮	工學士 日本製鋼所室蘭工場	〃	佐 藤 良 雄君	〃
〃	日本製鋼所室蘭工場	〃	阪 口 隆 三君	西 村 秀 雄
京都市中京區西ノ京壺井町一	京都帝大學生	〃	山 田 規 男君	三 村 秀 雄
本郷區田町三二渡邊良久方	東京帝大冶金科學生	〃	山 田 川 本 次君	西 村 秀 雄
市外世田ヶ町經堂六一 永田民三方	慶應大學學生	〃	〃	〃
京都市左京區淨土寺南田町九〇	京都帝大冶金科學生	〃	〃	〃